

ステップアップ！
企業面接会等を経てトライアルワークへ（H25/1）

自尊感情の向上！

- 「いい感じですよ」という手応え。
- 「質問してもいいですか」相談できるようになってきた。
- こだわりの強さを自覚。

- 作業所への通所+月3回の茶道教室+水曜日午後（甲賀市社会福祉センターでの喫茶店）+金曜日午前のサンライフ甲西メンテナンス（H24/7～）
- 合同面接会で3社を受けた。（H24/9）
- 企業での実習（H24/12）
「作業でのこだわりがあるために、この部署での継続的な就労は困難だが、別部署を考えてもよい」という企業の答え。
- 合同面接会で3社を受けた。（H25/2）

就職決定！（H25/3/29）
雇用・生活支援センターワーカーの訪問と
発達支援室での月1回面談を継続中

● 乳幼児期から発達支援システムによって支援を継続的に受けたきた事例である。学齢期には、集団の中あるいは個別対応の両輪によって、支援が順調に引き継がれていた。しかし、中学校卒業後、しばらく、個別対応の機会がなかった。この期間に、本人の自尊感情の低下は著しかった。この事例から、「中学校卒業後、直接的に関わる時間は少なくなっていても、相談支援機関の重要性」が明らかになった。発達支援室と就労に関する相談支援機関や医療との連携により、投棄することなく、自尊感情の向上が見られた事例である。